

大学コンソーシアム佐賀共通教養教育科目シラバス

開講年度	平成 24 年度	開講時期	前学期 後学期												
科目名	現代社会と倫理														
担当教員 (所属)	井本 浩之														
単位数	2														
曜日・校時	水曜日 2校時														
曜日・校時 追記 (授業形態)	(対面授業)														
講義概要 (開講意図・到達目標を含む)	<p>現代における科学技術の進歩は、伝統的な倫理観に対立する事象を多く生み出している。たとえば、医療の分野における技術革新は脳死問題、生体臓器移植等々を生み出し、伝統的な生命観を超えた問題を提起している。環境問題に目を向けても、経済的成長欲求と地球規模の成長の限界の対立など、問題は山積している。この授業では、現代社会において倫理的問題を語ることの難しさを実感していただくことを主眼にしている。</p> <p>〈到達目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な倫理説について説明できる。 ・科学技術の革新がもたらした新しいタイプの倫理問題について説明することができる。 ・現代社会が抱えている倫理問題を説明することができる。 ・法や規則によって解決できない問題に取り組もうとする姿勢を身につける。 														
聴講指定	特になし														
履修上の注意	特になし														
授業計画	<p>第1週 オリエンテーション (授業の進め方)</p> <p>第2週 意志決定ゲーム (あなたはどの道を選びますか?)</p> <p>第3週 自由意志の不思議</p> <p>第4週 意思決定ゲーム2 (取り戻せない選択肢)</p> <p>第5週 自由意志の怖さ</p> <p>第6週 自由と後悔</p> <p>第7週 倫理学とは何か</p> <p>第8週 西洋の倫理観1 (善と悪)</p> <p>第9週 西洋の倫理観2 (効率と倫理)</p> <p>第10週 西洋の倫理観3 (人権と効率)</p> <p>第11週 西洋の倫理観4 (カントの倫理主義)</p> <p>第12週 西洋の倫理観5 (解決のつかない問題)</p> <p>第13週 さまざまな倫理問題</p> <p>第14週 前期の復習とまとめ</p> <p>第15週 まとめ</p>														
成績評価の方法と基準	レポート及び受講状況による評価。														
教科書	必要に応じて準備します														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年					
資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年											
参考図書	必要に応じて準備します														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年					
資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年											
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>U R L</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	U R L								
名 称	U R L														
オフィスアワー															
その他	パワーポイントを用いたノート講義 グループワーク後の討論														